

# Aカードホテルシステムが「出張ビジネスマン」調査 ホテル以外の宿泊先は「カプセル」20%「民泊」は2%

独立系ホテルのキャッシュバックポイントカード運営を手掛けるAカードホテルシステム(東京都千代田区)は、同社が運営する「Aカードホテルネットワーク」の会員に対し、インターネットによるアンケートを実施。「出張ビジネスマンのホテル利用実態に関するアンケート」と題し、2017年6月26日~7月3日の一週間に渡って調査した。その分析結果を発表した。

## 「朝食はホテルで」約70%を占める

今回のアンケートは、出張ビジネスマンをターゲットとしているAカードホテルシステムの会員約80万人を対象に実施したもの。3611人が回答し、その内83.7%が「出張する」と回答している。

回答者のメイン属性は、30代から50代を中心とした男性会社員。回答者のプロフィールを見てみると、業種は製造業が30%を占めている。職種は「営業・販売」が26.3%で、次に「技術開発・設計」10.1%、「製造・生産・品質管理」が8.2%。役職は「一般クラス」23.4%と一番多いが、

経営者クラスも10.9%占めており、年収は500万~6000万が一番多く、加重平均では586万円だった。出張ビジネスマンの行動パターンを見ると、「夕食はどこで飲むか?」「お酒はどこで飲むか?」という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

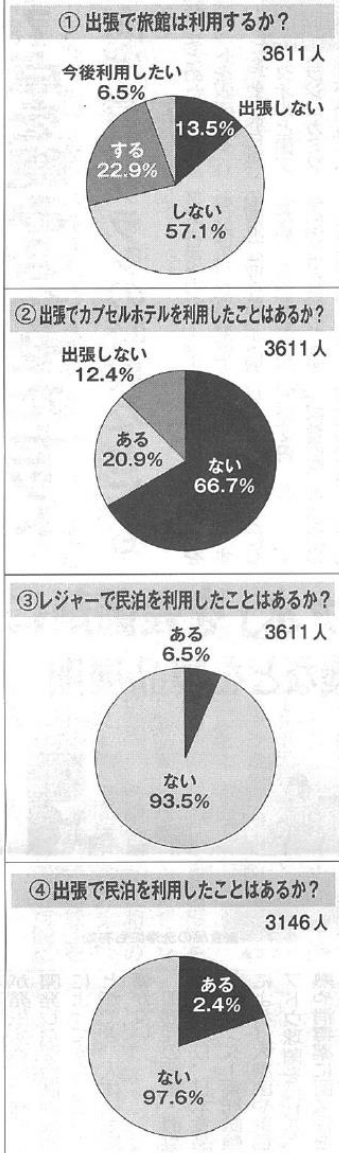
ビジネスホテル以外の利用については興味深い結果となった。出張でカプセルホテルを利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

カプセルホテルについては「出張で利用したことがある」が20.9%。近年のホテル宿泊費の高騰や、新しい

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。



## スマホアプリの配信をスタート

同社はこのほど、ジークラウド(東京都渋谷区)の開発協力のもと、8月1日より、Aカードアプリ(Android/iOS版)の配信を開始した。既にリリース済みのiPhone版アプリも同時にリニューアルを実施、アプリ上でマイページを利用することで、出張するビジネスマンをサポートする。料金100円ごとに10ポイントを実施している。

同社が運営するポイントカード「Aカード」は、全国の加盟ホテル・レストランで使用することができ、出張するたびにポイントが貯まり、貯まったらポイントが現金でキャッシュバックされる仕組み。ポイントが貯まる「Aカード会員限定」サービスとして、出張するビジネスマンをサポートする。料金100円ごとに10ポイントを実施している。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。

「民泊」の利用について、興味深い結果となった。出張で民泊を利用したことはあるか?という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約60%と半数以上を占めている。一方、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約70%を占めており、朝食の内容や設備へ力を入れることが、ホテルの評価を上げるのに効果的であるといえる。